

ゆきとどいた教育をめざす徳島県連絡会御中

日頃は徳島県教育問題解決への真摯なご活動に、敬意を表するものです。  
この度は何点かご質問いただきましたことに回答させていただきます。

【質問 1】

教育問題は私の重要な政策課題のひとつです。当然、学校現場の皆様の労働環境については、知事となった場合はできる限り早く実態把握をし、良い方向へ対応して参ります。

教員のキャリアアップのための研究費もかなり削減されていることを聞き、由々しき事態であると認識しております。

いずれにせよ先生方が働きやすい職場環境は子どもたちにとっても、良い学びの環境であると考えております。

【質問 2】

この問題についても 1 と同じであり、知事に就任した場合は、実態について把握すべきと考えております。

文部科学省の言いなりではなく、県独自の考え方を示すべきとの認識です。

【質問 3】

本県は新卒者の正規採用が極めて少なく、多くの臨時教員が教壇に立っているのが現状で、その臨時期間が長期に及ぶケースも多いと聞き及んでいます。

この件につきましても実態を調査した上で対応すべきと考えます。

やはり優秀な学生はきちんと新卒採用するのが本来の姿だと思います。

【質問 4】

3 でも触れましたが、何故本県は新卒採用が異常に少ないのか、疑問を感じております。

先生たちが心にも時間にも余裕を感じ、豊かな心で子どもたちに向かい合うことが、学校教育のあるべき姿です。

ご指摘の通り今の徳島の学校現場の状況は、先生方にとって決して幸せな働き場所であると言えない部分も多々あります。

教育再生が私の重要政策であります。学校を子どもたちのユートピアにするため、学校現場の多様化するニーズに対応し、学校と先生への支援を拡充することをお約束いたします。

(抽象的な回答となりましたが、全ては知事就任後、実態調査をした上で対応することをご容赦ください)

後藤田正純